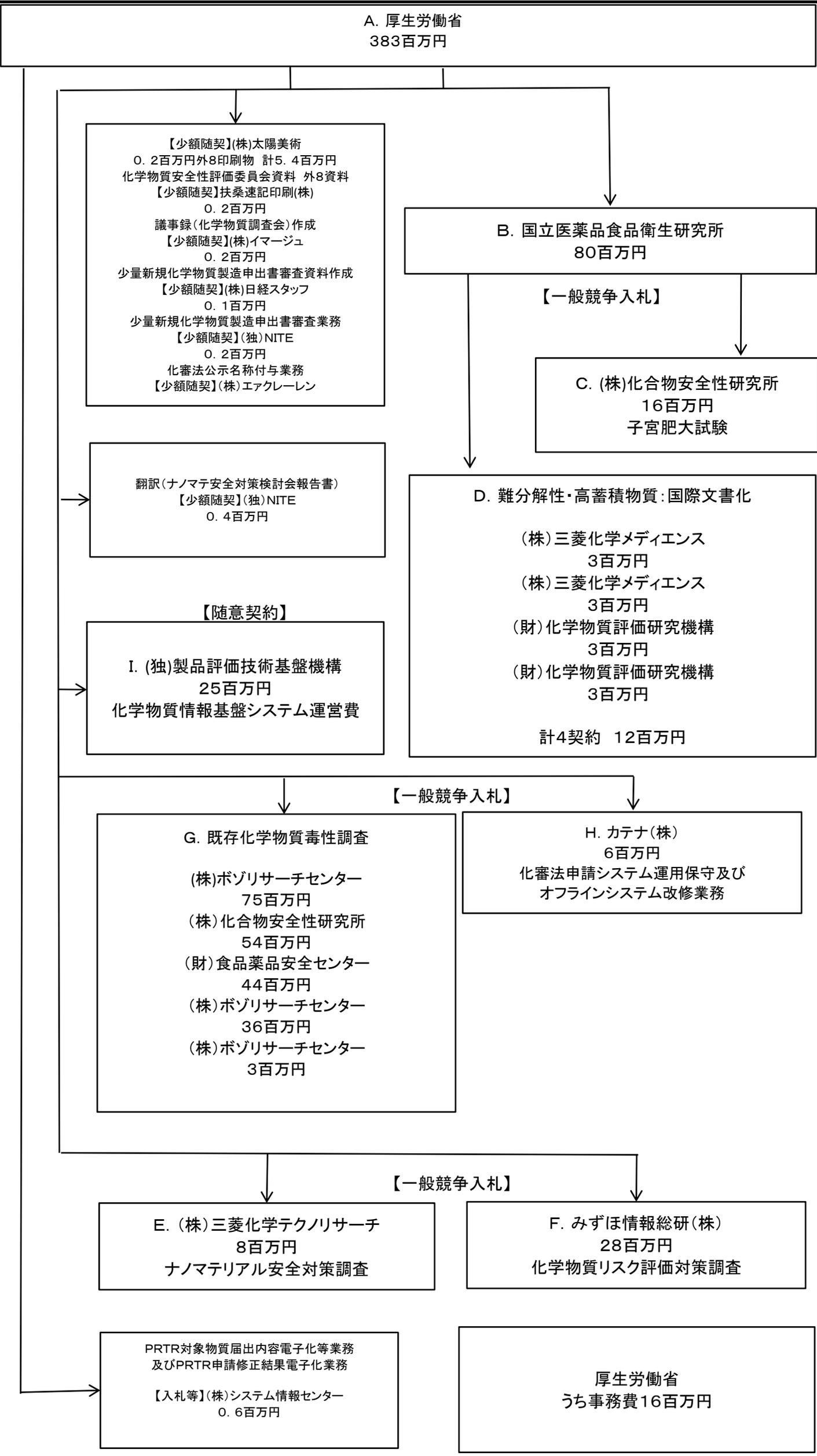


行政事業レビューシート (厚生労働省)

| | | | | | | |
|----------------------------|---|---|------------|----------------|------|-----------|
| 予算事業名 | 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律等施行費 | | 事業開始年度 | 昭和49年度～ | | 作成責任者 |
| 担当部局 | 医薬食品局 | | 担当課室 | 審査管理課化学物質安全対策室 | | 室長 長谷部 和久 |
| 会計区分 | 一般会計 | | 上位政策 | - | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | - | | 関係する計画、通知等 | - | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)に基づき、難分解性の性状を有し、人の健康を損なう恐れのある化学物質を規制する。また、ベンゼンなどの354の特定化学物質を扱う化学、機械、薬品などの製造業を中心とする事業所を対象に化学物質の排出量の届出を義務づける特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)に基づき、所管事業所データを受入、開示請求に対応するための総合データシステムの運用及び内分泌かく乱化学物質、ナノマテリアルなどの新素材について、国際整合性を踏まえつつ、文献調査、毒性試験、人の健康への影響評価等を行い、総合的な化学物質の安全対策を推進する。 | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 1. 新規化学物質等の審査、既存化学物質毒性試験の実施、電子申請システム及び3省(厚生労働省・経済産業省・環境省)共管情報基盤システムの管理。 2. PRTR法に基づき化学物質の排出量を所管する事業所のデータ受入及びシステム管理。 3. OECD試験ガイドラインに基づく内分泌かく乱化学物質実証試験の実施。我が国の規制との整合性に関して海外の規制当局との化学物質に対する規制のあり方、リスク管理方策及び毒性試験評価基準等の国際協調。新素材のナノマテリアルについての国内使用実態等調査。 | | | | | |
| 実施状況 | 1. 審査・申請件数:年間600件(通常新規)、200件(低生産量)程度、毒性評価試験:年間20物質程度、公開情報としてジャパンチャレンジプログラムで収集された高生産量化学物質の安全性情報に関する報告書等を発信(化審法関係) 2. PRTR法に基づく届出件数年間1000件程度 3. 内分泌かく乱化学物質スクリーニング試験として子宮肥大試験により4物質を評価、化学物質リスク評価対策調査及びナノマテリアル生産動態調査を実施 | | | | | |
| 予算の状況 (単位:百万円) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度要求 |
| | 予算額(補正後) | 585 | 577 | 414 | 560 | 460 |
| | 執行額 | 544 | 516 | 383 | | |
| | 執行率 | 93% | 89% | 93% | | |
| | 総事業費(執行ベース) | 544 | 516 | 383 | | |
| 自己点検 | 支出先・用途の把握水準・状況 | 1. 化審法申請システムについては競争入札によりカテナ(株)が運用保守等を実施、既存化学物質の毒性評価試験については、競争入札によりボゾリサーチセンター外4者により実施、3省共管データベースについては、(独)製品評価技術基盤機構(NITE)において実施。 2. PRTR法による届出を集計しホームページに掲載するため、競争入札により(株)システム情報センターが実施等。 3. 内分泌かく乱化学物質スクリーニング試験及び子宮肥大試験については(株)化合物安全性研究所、化学物質リスク評価対策調査についてはみずほ情報総研(株)、ナノマテリアル安全対策調査は(株)三菱化学テクノロジーサーチが競争入札によりそれぞれ実施。 | | | | |
| | 見直しの余地 | 毒性評価試験については、試験実施期間を最大限確保するため、入札時期を早め、第1四半期に実施した。化学物質リスク評価対策調査については1者入札となったことから、平成22年度においては、入札仕様を見直し、調達手続を行っている。 | | | | |
| 予算監視の・効率化 | 一部改善(事業を一部見直し、概算要求に反映) 恒常的に多額の不用が生じているわけではないが、調査費等の効率化を図るべきである。 | | | | | |
| 補記 | | | | | | |

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

| A. 厚生労働省 | | | E. (株)三菱化学テクノロジー | | |
|------------------|----------------------------------|-------------|------------------|----------------|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 請負業務 | (株)ボゾリサーチセンター 外4件 既存添加物毒性試験 | 212 | 請負業務 | ナノマテリアル安全対策調査 | 8 |
| 支出委任 | 国立医薬品食品衛生研究所 子宮肥大試験他 | 80 | | | |
| 請負業務 | みずほ情報総研(株) 化学物質リスク評価対策調査事業 | 28 | | | |
| 委託費 | (独)製品評価技術基盤機構 化学物質情報基盤システム運営費 | 25 | | | |
| 請負業務 | (株)三菱テクノロジー ナノマテリアル安全対策調査業務 | 8 | | | |
| 請負業務 | カテナ(株) 化審法申請システム運用保守他 | 6 | | | |
| その他事務費 | 郵便後納料金 賃金 他 | 16 | | | |
| 印刷費等 | 印刷製本費、委員等外国旅費他 | 8 | | | |
| 計 | | 383 | 計 | | 8 |
| B. 国立医薬品食品衛生研究所 | | | F. みずほ情報総研(株) | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 外部委託費 | (株)化合物安全性研究所 子宮肥大試験 | 16 | 請負業務 | 化学物質リスク評価対策調査 | 28 |
| 外部委託費 | (株)三菱化学メディエンス 外3件 難分解性・高蓄積性物質国際文 | 12 | | | |
| 消耗品費 | サージカルマスク 外 | 6 | | | |
| 役務費 | 人材派遣費 | 27 | | | |
| 賃金 | 研究補助 | 7 | | | |
| 光熱水料 | 上下水道、ガス、重油、電気料 | 12 | | | |
| 計 | | 80 | 計 | | 28 |
| C. (株)化合物安全性研究所 | | | G. (株)ボゾリサーチセンター | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 請負業務 | 子宮肥大試験 | 16 | 請負業務 | 既存化学物質毒性調査 | 75 |
| 計 | | 16 | 計 | | 75 |
| D. (株)三菱化学メディエンス | | | H. カテナ(株) | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 請負業務 | 難分解性・高蓄積物質:国際文書 | 3 | 請負業務 | 化審法申請システム運用保守外 | 6 |
| 計 | | 3 | 計 | | 6 |
| I. (独)製品評価技術基盤機構 | | | | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | | | |
| 借料及び損料 | (株)NECキャピタルソリューションズ ハードウェア他 | 8 | | | |
| 役務費 | (株)富士通九州システムズ システム運用管理費 | 7 | | | |
| 人件費 | 職員人件費 | 3 | | | |
| 賃金 | 派遣職員人件費 | 2 | | | |
| 消耗品その他 | コピー用紙他 | 1 | | | |
| 一般管理費他 | | 4 | | | |
| 計 | | 25 | | | |